

2023年始動 関西の優良企業トップに聞く ニューノーマル時代に新たな成長への挑戦

心構えで変化に対応 〝次の一手〟への準備怠らず

— 一足元の景況感は。

「2022年8月期は部品の調達難や材料費高騰などを背景に厳しい見通しを立てた。結果的に売り上げ、利益ともに計画を上回ったが材料関係費や原価率は悪化、改善の兆しが見えないのが気がかりだ。納期が長くなっている環境への慣れも危惧する。そこで23年8月期の行動目標に普段から変化に対応できる心構えを身につけ、準備を怠らないことを掲げた」

— 実験設備を増強されました。

「拡散接合専用のホットプレス炉を設置した。拡散接合は古くからある技術だが近年は用途が広がっており当社も本

腰を入れる。まず自社で実験を続けている。自分たちが接合プロセスを理解しないと実験設備に誘導できないからだ」

— 予知保全にも注力されています。

「寿命監視システムは販売間近に迫ってきた。現在は顧客にテストを重ねてもらい、そこで蓄積されたデータを基に高度化を図り、早期の販売を目指す」

— 人材確保へ向けての取り組みは。

「健康経営優良法人も3年目で、22年には中小企業上位500社のブライト500に選ばれた。人材確保が難しく、社員が心も体も健康で元気に働き続けてもらわなければならないだけに取り組みを強化する。学生へのアピールもインター



富士電波工業
横島 俊夫社長

ンシップに加え、大学最寄り駅に看板広告を展開する」

— 時代は刻々と変化しています。

「あらゆることに取り組むことが勝ち残りに不可欠だ。世界の景気後退が語られる中、日本はまだ落ち着いているが先々を考えると安閑としてられない。〝次の一手〟の準備は怠らないようにしたい」

富士電波工業の超高温加熱技術は サステイナブルな地球の未来へ向けて 『ものづくりの環』をつなぎます

新素材を生み出し、製造コストを削減し、省エネルギーを実現し、安全な生産プロセスを構築する。そんな幾多の先端的な技術課題に挑むお客様からのご相談を、加熱技術で確実にカタチにするために、誠実で、愚直に、とことんまであきらめず、知恵を絞り、そして汗をかく。お客様と二人三脚で疾走する技術・技能者集団として、信用と実績を積み重ねて74年。これからも、技術に磨きをかけ、より高度な加熱ニーズにお応えします。



2021年11月に完成した新事務所棟（滋賀工場内）



多目的高温炉「ハイマルチ」
フインセラミックス等の素材開発に不可欠な標準機として国内外の研究機関・企業に250台以上の実績。この1台で真空・帯圧・加圧でのホットプレスと焼結が全て可能。
「ものづくりの環」をつなぎ人と地球の未来を創る



大阪の元「ものづくり企業」
2018年度
審査委員特別賞受賞！



2022
健康経営優良法人
Health and productivity
ブライト500
健康経営優良法人2022
(中小規模法人部門)認定



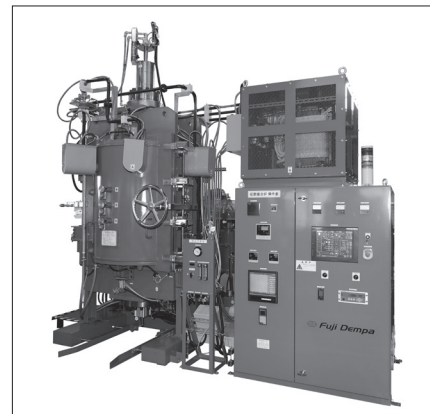
http://www.fujidempa.co.jp

営業品目

- 誘導加熱：高周波溶解炉、誘導加熱装置
- 焼結炉、ホットプレス、CVD炉、昇華炉
- 黒鉛化炉、脱脂炉、連続炉、ローラーハウス炉
- 熱解析、受託実験等のソリューションサービス

富士電波工業株式会社

本社：大阪市淀川区新高2-4-36
東京営業所 名古屋営業所 滋賀工場 つくば事業所
<http://www.fujidempa.co.jp>



滋賀工場に新設した実験用の
拡散接合ホットプレス炉